

令和元年度 事業報告



「Be a Global Japanese! 一流の日本人になれ！」をコンセプトに、1歳児～5歳児の乳幼児を対象とした教育保育を行っています。

併設：御影小規模保育ルーム(神戸市小規模保育事業)



御影インターナショナルこども園は、開園から6年目を迎えました。日本人としてのアイデンティティを身に付け、世界中の人たちと友だちになれる人材を育てるという教育保育方針のもと、特色ある「MIK教育プログラム」「英語イマージョンプログラム」「生活プログラム」の3つの柱によって、それぞれの個性を伸ばしながら発達段階に応じて生きる力を育てています。

新保育所保育指針等において「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明示され、小学校との円滑な接続の重要性が増しています。本園においても、小学校との連携強化を図り、小学校での学びにつながる教育保育内容の更なる充実を図って参ります。

御影小規模保育ルームにおいても、保護者のニーズに合った教育保育に取り組みました。

今年度、特に以下の項目において重点的に具体的に取り組みました。

- ① 幼小接続
- ② 保護者満足度の向上
- ③ 地域コミュニティとの連携
- ④ 財務改善

御影インターナショナルこども園
園長 西野 雅二

御影インターナショナル こども園

設置場所：神戸市東灘区御影2丁目15-27

定員：120名

■教育活動計画

1. 1歳児クラス

情緒の安定を第一に考え、保護者との連携を密にし、家庭生活とのバランスを取りながら保育を行いました。また、石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の基礎を養いました。

2. 2歳児クラス

前述の保育内容に加え、プレイマージョンとして歌、体操、絵本読み聞かせなどについて積極的に英語を使った保育を行いました。また、外部講師による体育あそび教室も継続して行うなど、心身の健全な発達を促しました。

3. 3-5歳児クラス

英語イマージョンプログラムを行いました。専任の担当者が、日々作成したプログラムに沿って、外国人教員と日本人保育士が連携してクラス運営を行いました。

4-5歳児については、Cambridge Exam, Starters (ケンブリッジ国際児童英検スターターズテスト)を受験し習得度を確認しました。

また、さまざまな分野の外部講師を招聘し、絵画造形、体育あそび、リトミック、論語、鍵盤ハーモ

ニカのクラスを定期的に行い、園児たちの興味と関心を広げ、大きく育てました。

■幼小接続

小学校教育との円滑な接続を図る観点において、新保育所保育指針、新幼稚園教育要領等に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明確に示されたことにより、本園においても、卒園後の学びにつなげるために一層の幼小接続に取り組みました。

小学校との連携を行うにあたっては、本園が文教地区に立地していることより、私立小学校だけでなく、近隣の公立小学校とも情報交換を図りました。

御影小規模保育ルーム

定 員：19名（0歳児－2歳児）

■保育方針と保育目標

保育指針に基づき、支給認定を受けた保護者の児童に対し、特定地域型保育を提供しました。

■保育活動計画

1. 0－1歳児クラス

健やかな生活を確立できるよう環境を整えとともに、健康や安全など日常生活に必要な基本的な習慣や態度が身につけられるよう働きかけていきました。1歳児からは、石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の基礎を養いました。

2. 2歳児クラス

前述の保育内容に加え、様々な体験ができる環境を整え、子どもの思いに共感しながら、豊かな感性を育むよう働きかけました。

社会連携・社会貢献

■地域への貢献

近くの神社で開催される「花びらまつり」では、職員若干名が運営のボランティアに参加しました。

秋祭りや子育て講座、ファミリーコンサートなど、地域の方にも参加していただける行事を実施しました。

また、地域の自治会と連携し、老人会との交流を図る機会を作りました。

今年度も神社や地域主催の行事に積極的に参加し、地域との交流を深めました。

■ボランティア活動、就業体験受入

昨年度、地域ボランティアの方々にご協力いただき、しめ縄づくりやクリスマス会など、多くの園行事を開催することができました。今年度も、園行事へのご協力をいただき、園児たちに様々な体験ができる機会を増やしました。

近郊の大学からは、保育士を目指す就業体験学生の受け入れを行っており、今年度も継続実施しました。

中学生が職場体験、福祉体験、勤労生産活動を行う兵庫県独自の事業「トライやる・ウィーク」について、令和元年度も就業体験生徒の受入を継続して行いました。

環境整備

■ICT化の推進

昨年度、保護者との連絡・情報共有、スタッフ業務の効率化のため、保育園管理システムを導入しました。今年度もお知らせ一斉配信、アンケート、ICカードによる登降園管理などの機能により、保護者とのコミュニケーションの向上を図るとともに、園児情報他様々な情報の共有、保育料請求などの業務効率化に役立てました。

■施設の充実

昨年度までの年次進行による園児数の増加への対策として、園庭及び室内用の運動あそび遊具等の施設充実を図ってきましたが、今年度は、園児に怪我のないよう安全点検及び維持管理に努め、園児が思う存分活動できる環境づくりに努めました。

■図書 of 充実

保育士の読み聞かせや子どもたちが読書に親しむための絵本などの、児童・幼児用図書の充実を図りました。ご家庭でも絵本に親しんでいただくため、「ふくろう文庫」による図書の貸し出しを継続して行いました。

■安全管理、健康管理

乳幼児の安心安全を担保する為、職員全員が、施設・遊具等の安全管理、感染症の予防などの健康管理を徹底しました。担任は子どもの健康管理について、保護者との情報の共有に努めました。

乳幼児突然死症候群（SIDS）や非常災害などの発生時に備え、定期的に緊急時対応訓練を実施しました。

■職員研修

園内研修については、必要に応じて外部講師を招聘し、計画的に実施しました。園外研修についても、職員の派遣を積極的に行い、保育士の能力向上に努めました。

園児の受入

■園児の受入方針

御影インターナショナルこども園では、保護者に教育保育方針・目標などの内容を十分に理解していただいたうえ入園していただくよう、入園説明会や親子面接の機会を利用して、園の方針を積極的に説明しました。

なお、御影小規模保育ルームは認可施設のため、神戸市からの割り当てにより入園者を受け入れまし

た。

■入園説明会・施設見学

御影インターナショナルこども園では、体験型の入園説明会や施設見学会などで、園の方針を説明し、保護者の方のお子さまの教育保育に対する思いとミスマッチが生じないように努めました。

御影小規模保育ルームについては、神戸市へ支給認定手続き及び利用申込みの提出の際に、多くの入園希望者に選択いただけるよう、積極的に個別見学を受け付けました。

■保護者満足度の向上

保護者満足度を向上し、保護者からの評価が高まることで募集の大きなポイントになることから、満足度調査を定期的の実施し、更なる改善に努めました。

また、「けやきの会」（保護者会）との連携強化を図り、園児が健やかに生活できる環境を一緒に構築しました。

主な行事予定

4月 1日	入園式
1日	進級式
7日	花びらまつり
5月 11日	親子のつどい・クラス懇談会
6月 10日 ～18日	保育参観・個別懇談
7月 20日 8月 4日 8月 24日 9月 1日 12月 7日	入園説明会（5回）
8月 2日 ～3日	お泊り保育
9月 4日 14日 9月 22日	祖父母参観日 秋祭り 運動会（小規模）

10月2日	地域老人交流会
19日	みかげスイーツロードと公園のあかり
27日	運動会（こども園）
31日	ハロウィンパーティー
11月12日	七五三
16日	保育参観・クラス懇談会
12月14日	みんなの発表会（こども園1～2歳）
21日	ファミリーコンサート
25日	クリスマス会
1月6日	初詣
17日	シェイクアウト訓練
19日	みんなの発表会（小規模）
2月15日	みんなの発表会（3～5歳）
3月21日	旅立ちの日～The day we take off

その他行事

誕生日会、遠足、子育て講座 など

児童・教職員数

（令和元年5月1日現在）

■在籍児童数

◎御影インターナショナルこども園

クラス名	収容定員	在籍児童数
1歳児	12	13
2歳児	18	18
3歳児	30	21
4歳児	30	22
5歳児	30	29
合計	120	103

◎御影小規模保育ルーム

クラス名	収容定員	在籍児童数
0歳児	19	3
1歳児		5
2歳児		9
合計	19	17

■職員数

園長	副園長	英語 教員	保育士	事務 職員	計
1	1	3	12	2	19